

北海道大学 J-PEAKS リジェネラティブ農林水産 (IRAFF) セミナー
(仮称) アグロ・フォレスト「薬草と香りのサイエンス学校」構想化に向けて
～道立名寄産業高校 40ha の利活用による道北地域活性化の可能性～

1. 開催目的

道北地域において、森林や薬草の研究機関、道立名寄産業高校や名寄市立大学などの高等機関が成し遂げてきた成果や研究蓄積は、これまでの地域発展の原動力となっていました。主要テーマの一つが「薬草や香り」であり、2024 年には名寄市主催のハーブサミットが開催されるなど、薬草や森林、農業が融合する地域性は、世界から注目が集まります。今回のセミナーは、これらを背景に「薬草と香りのサイエンス」にフォーカスし、関心を寄せる産学官民が集まり、産業高校敷地が有する道北地域の農林業発展へのポテンシャルや、未來の集積拠点づくりに向けた可能性を探ることを目的として開催します。北海道大学は、持続可能な食糧生産システム「リジェネラティブ農林水産プロジェクト (IRAFF)」のモデルとして、名寄や道北地域の世界への飛躍に向けて取り組みを進めて参ります。

2. 開催概要

日 時 : 1月30日(木) セミナー 13:30 ~ 16:30
懇親会 18:00 ~
会 場 : 名寄市市民文化センター「多目的ホール」
主 催 : 北海道大学 J-PEAKS リジェネラティブ農林水産プロジェクト (IRAFF)
後 援 : 名寄市、北海道上川総合振興局
参 加 料 : 無料(ただし、懇親会、宿泊は各自持ち)
定 員 : 50名
懇 親 会 : 18:00 ~ グランドホテル藤花 会費 6,000円／人
宿 泊 : グランドホテル藤花 11,000円／人(朝食付き、30名分を確保済み)
ア クセス : ○羽田空港～旭川空港 07:45 発→9:20 着
○札幌駅～名寄駅 07:30 発→09:54 着
○本州からの参加者の皆様は、旭川空港からバス等のチャーターにより移動

3. お申込み

別紙申込書にて、2025年1月15日(水)までにお申し込みください。

満席の場合、申込順となりますので、お早めにお願いします。

4. セミナー内容

【第1部】

13:30 開会ご挨拶と開催趣旨、IRAFFの取り組み

北海道大学副学長 西邑 隆徳

13:40 地域からの報告

- (仮)「北海道立名寄産業高校の閉校について」(10分)

名寄市総合政策課 金ヶ崎 恵 氏(北海道庁より派遣)

- (仮)「名寄での取組とこれからの地域振興に向けて」(20分)

名寄市立大学 保健福祉学部 教養教育部

准教授 今野 聖士 氏

14:10 基調講演

(仮)「これから農業に必要とされる視点と農業人材がもつべきスキルとは?」

公益社団法人日本農業法人協会専務理事 紺野 和成 氏

14:40 アグロ・フォレスト 薬草や香り、味の体験

テーブル上やパネルで、乾燥薬草や香り、味の体験をお楽しみいただきます。

- 株式会社シロ
- 北海道大学 森林圏ステーション 雨龍研究林
- 北海道林業試験場
- 王子薬用植物研究所株式会社
- 医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター 北海道研究部
- 株式会社積丹スピリット

【第2部】

15:10 取組紹介とディスカッション

テーマ：アグロ・フォレスト「薬草と香りのサイエンス学校」構想化に向けて

パネルディスカッション方式での意見交換ですが会場の皆さんから意見を伺います。

- (仮)「名寄における薬草研究と期待される活用や役割」

医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター
北海道研究部 研究リーダー 林 茂樹 氏

- (仮)「雨龍研究林の取組と香りから見た森林の可能性」

北海道大学 森林圏ステーション名寄教育研究棟 教授
吉田 俊也 氏

- (仮)「積丹における森と海、農業の融合によるジンづくり」

株式会社積丹スピリット 取締役 岩崎 秀威 氏

- (仮)「ようこそ、香りの世界へ」

株式会社シロ 代表取締役会長 今井 浩恵 氏

総括コメント

- 【特別参加】 北海道大学シンガポール事務所(シンガポール青年会議所会長)
ビンテージマネジメント株式会社 代表取締役社長
安田 哲 氏

- 北海道大学副学長 西邑 隆徳

16:20 閉会ご挨拶と今後に向けて

名寄市長 加藤 剛士 氏

5. 懇親会 18:00~ グランドホテル藤花 会費 6,000円/人

【問い合わせ先】

北海道大学 J-PEAKS リジェネラティブ農林水産 (IRAFF) 事務局

株式会社G B産業化設計 担当: 岩井、廣瀬

電話: 011-211-4689

メール: info@gb-hokkaido.com